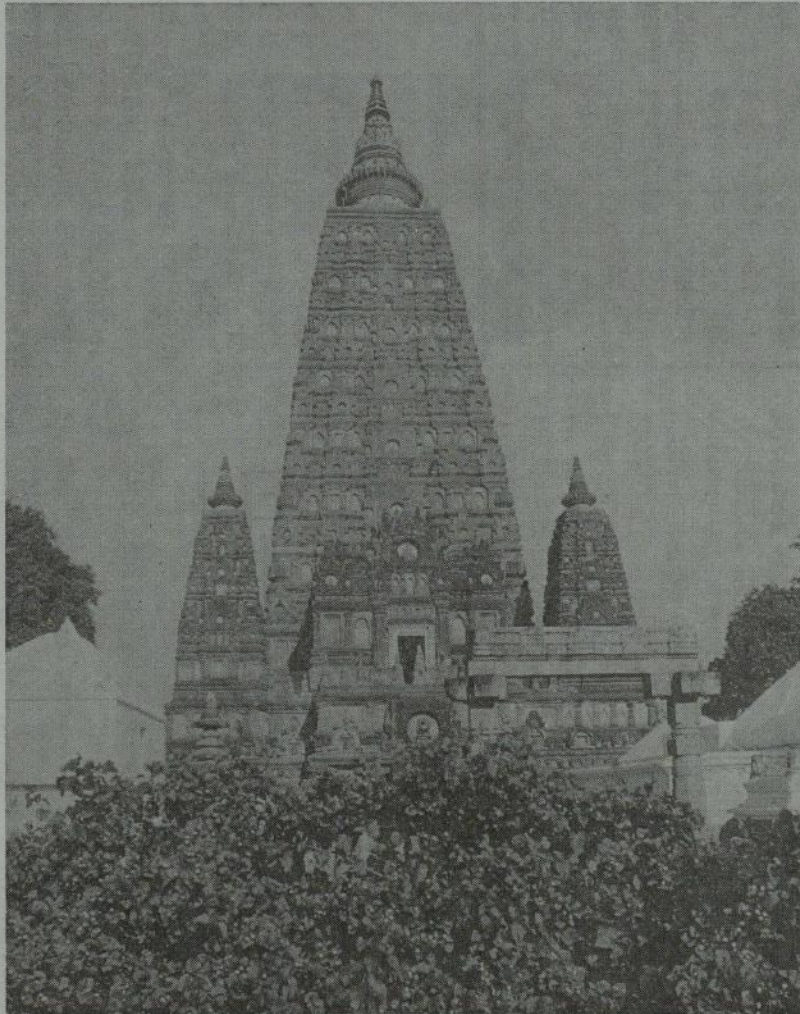


全 仏

NO. 230

7 / 52



仏跡シリーズ

△成道の聖地
ブダガヤ▽

カメラ・松本栄一氏

協力—千代田トラベル

埼玉大会の準備進む

記念講演 斎藤栄三郎氏

第25回全日本 仏教徒会

第二十五回全日本
仏教徒会議埼玉大会
は、十月七日午前九
時半より、埼玉県浦
和市の埼玉会館にお
いて、「仏教を現代
に生かそう」—いのちを大切に—のス
ローガンのもとに開催される。

全日仏事務総局では組織局を中心に、
また地元埼玉県仏教会では、準備委員
会を執行委員会へ発展させ、それぞれあ
と三カ月余の大会にむけ準備している。
特に埼玉県仏教会では、連日にわたり

埼玉大会を記念し 「文書伝道資料展」

出品のお願い

第二十四回全日本仏教徒会議三重大
会で採択された文書布教を奨励する運
動推進のため第二十五回埼玉大会では
「文書伝道資料展」を開催します。

宗派、県仏、団体ならびに地域仏教
会や各寺院において発行する会報、寺
報、ハガキ伝道、パンフレット、ポス
ター、教箋、機関紙などを布教伝道資
料として展示いたしたく、その出品を
お願いいたします。

展示期日 昭和五十二年十月七日
展示場所 浦和市埼玉会館
資料送付 九月十五日までに埼玉県仏
教会へお送り下さい。(浦
和市高砂四の十三の十八・
埼玉県仏教会文書伝道資料
展係)

※出品下さった伝道資料は、展示終了
後埼玉県仏教会にて整理保存いたしま
すのでご了承下さい。

第二十五回全日本
仏教徒会議埼玉大会
は、十月七日午前九
時半より、埼玉県浦
和市の埼玉会館にお
いて、「仏教を現代に生かそう」
—いのちを大切に—
スローガン

日 時 昭和五十二年十月七日(金)
会 場 浦和市県庁通り・埼玉会館
部 会 第一部会(実践部会)―仏教を
現代に生かす具体的方策
第二部会(檀信徒部会)―日常
生活に仏教を生かす方策
第三部会(婦人部会)―青年の

タリ、教箋、機関紙などを布教伝道資
料として展示いたしたく、その出品を
お願いいたします。

生活に仏教を活かす具体的方策
講演 仏教徒への提言―斎藤栄三郎氏
(記念行事)

- ①名僧墨蹟展 9月15〜20日大宮高島屋
- ②仏教幼児画展 12月5〜7日埼玉会館
- ③文書伝道資料展 10月7日 埼玉会館
(協賛行事)
- ①写真展「石ほとけたち」10月5〜9日
埼玉会館
- ②秩父34カ所観音霊場巡拝10月8・9日
秩父札所

大会実行委員会開く

六月十六日午前十時より全日仏会議室
で、第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大
会の実行委員会が開かれた。

すでに準備は順調に進んでいるとの報
告のあと、大会役員の選任について協
議し、大会長、幹事長および各部会長、助
言者、議事運営委員、起草委員等を選ん
だ。また都道府県仏代表者会議について
も、その内容、役員などを検討した。

日本仏教文化会議 第十回

全日本仏教会と国際仏教交流センタ
(孝道教団)の共催による「日本仏教文
化会議」は今年第十回目をむかえる。

今年第十回ということから、いまま
での「アジア開発と仏教」(一〜三)、
「生命科学と仏教」(四〜六)、「人類
の未来と仏教」(七〜九)の成果をふま
え、また明年の第十二回世界仏教徒会議
日本大会にむけて、シンポジウムがもた
れる。

特に生命尊重からみる人口問題、食糧
やエネルギーなどの資源問題、工業化に
よる公害問題、先進国と開発途上国との
間における南北問題など、現代社会にお
ける具体的問題を考慮しつつ、新しい人
類の価値観を確立し、具体的実践的に仏
教の本旨を生かすべく討議がなされるだ
けに、そのまま明年の大会の資料となる
よう大きな期待がもたれている。

すでに運営委員会なども開かれ、次の
ような要項で行われる。

「第十回日本仏教文化会議要項」
テーマ 仏教徒は現代に何をなすべきか
―世界仏教徒会議への提言―
(研究事項) ①仏教徒が思考す
る未来社会 ②世界仏教徒の連
絡提携について ③その他

期 日 八月二十五日
会 場 東京グランドホテル
主 催 (財)全日本仏教会
(財)国際仏教交流センター
後 援 読売新聞社

なお日本仏教文化会議はオブザーバー
参加(聴講)が許されており、本年で、
参加希望の方は全日本仏教会事務総局へ
その旨お早めにお申込み下さい。本年は
一日だけの会議です。

21世紀におくる仏陀のメッセージ
 第12回世界仏教徒会議
 日本大会にむかって
 ◎とき／昭和53年10月1日↓6日
 ◎ところ／東京・京都

事務局準備状況

第十二回世界仏教徒会議(WFB)日本大会の準備は順調にすすんでいるが、あと一年三カ月という期間にやらねばならないことが多い。実行委員会では、それぞれに委員会が開催され、また事務局も少ないスタッフで鋭意努力している。

【庶務部】人事・文書を含む庶務一般を受けもち、追加実行委員の人事、文書整理のほかに、さわやかなウケイスイ色の封筒、便箋などを作成。

【企画部】企画、局間調整などを分担し、各部との調整をはかりながら、組織委員会の人選、全体のスケジュールなどを検討している。すでに「大会の葉」も作成され、現在発送している。また外貨事情の悪い国の参加についても、来日できるよう研究する。

【記念事業部】すでに仏教英語学生の研修は毎週一回ずつ開かれているが、その他の記念事業については記念出版、墨跡展など企画中である。

【勸募部】勸募のスケジュール表にもとずき活動する。すでに勸募帳、勸募箱勸募袋が作成され、勸募体制にはいつている。

【経理部】加盟団体協力金については

経理部で扱い、その依頼にもとずき、各団体の協力により順調に集まっている。

【渉外部】WFB本部との連絡はもとより、大会に対する問い合わせに答える一方、大会招待状の作成準備中。また地方大会の依頼交渉などを行っている。

【広報】ポスターの原案ができ、細部について事務局で検討している。また業界紙に広告を依頼する。

【式典】歓迎大会の予定されていた武道館が日程の関係で使用できなくなったので、他のホールを打診中。開会式は築地本願寺の内諾を得、閉会式は京都国際会議場を予約した。地方大会は交渉中。

【会議】会議は芝の増上寺の内諾を得た。分科会、パネルディスカッションなどについて検討する。

【接待】輸送、宿泊などは旅行業社依頼の方向で折衝中。またレセプションなども検討中である。

仏教英語研究会

夏期研修は身延山で

第十二回世界仏教徒会議日本大会の記念事業として開設された「仏教英語学生養成」の研究会(仏英研)は、当初の予定をオーバーし、応募者四十名(駒沢大

大正大、立正大、武蔵野女子大など)が毎週一回熱心に講義を受けている。なお会場は浅草の浜田ビルから、新宿の常円寺(日蓮宗・及川真学住職)に移して開催している。

講師の先生方も仏英研の意図にそって講義をされている。第一月曜の花山勝友先生は、ユーモアをまじえた実践的な仏教英会話。第二木曜の佐伯真光先生は、とりあえず当日のジャパントイムスを使用している講義。第三月曜の松涛弘道先生は、ご自身で出版された「仏教英語入門書」を全員に配布して講義。第四木曜の小笠原隆元先生は、厳格な仏教英語の講義というように、それぞれ独自の方法で教えておられる。

【夏期合宿】夏休み中に一週間程度の集中研修は、日蓮宗総本山・身延山の配慮により山梨県身延山の「身延山信徒研修道場」において、七月二十日より二十六日まで開催されることとなった。

勸募委員会ひらく

東西配分など協議

勸募委員会は五月二十四日、第一部門(久保基委員長)・第二部門(郡司委員長)合同で開催され、次の事項について協議した。

(東西の区分) 東日本―三重、愛知、岐阜、福井以东とする。西日本―三重をのぞく関西以西をいう。

(特別寺院勸募額東西配分) 東日本―二千五百万円、西日本―二千万円を予

定する。
 (一般寺院勸募額東西配分) 東日本―四千万円、西日本―二千万円とし、東日本―四千万のうち二千八百万円を関東申信越静ブロックで配分する。

(勸募完了目標期日) 東日本特別寺院は十月、西日本特別寺院は明年三月、東京仏教連合会は十月、東京以外東日本一般寺院は明年八月、西日本一般寺院は明年八月、仏教徒協賛金は明年九月ということ了承。

(仏教徒協賛金) 特別仏徒協賛金は、金仏企画ツア―参加経験者に一口五万円の協賛を依頼する。約二百口で一千万円を予定する。

一般仏徒協賛金は、募金箱・募金袋などを作り、有力都道府県仏を通じて寺院に設置し、約一千万円を予定する。

(協賛寺院・協賛者に対する処遇) 一万円～五万円迄は感謝状、五万円超～二十万円迄は感謝状と記念品、二十万円以上は感謝状と記念品、この他に協賛者は式典などに招待する。

(特別寺院と一般寺院勸募担当区分) 委員会と事務局が主体となって勸募を行い、公表は都道府県仏扱いとす。

(関連業界寄付依頼) 一千万程度を依頼する。

(勸募委員増員) プレティストクラブより選出の実行委員数名が、勸募の実動に協力する旨の意志表示がありました承。その他に全日仏加盟団体へ挨拶のため六月下旬より実動にうつることが了承された。

暑中御見舞い申し上げます

浄土宗宗務庁

浄土門主	岸 信宏
宗務総長	稲岡 覚順
総務局長	梶原 重道
教学局長	古屋 道雄
財務局長	水谷 激道
社会局長	飯田 信弘
宗務支所長	野村 宗春
開教振興協 事務局長	山口 諦存
善導 専任部長	無垢品 導生
心長公室長 得	藤野 俊雄

〒605 〇七五(五二五)二〇〇〇
京都市東山区林下町四〇〇

臨濟宗妙心寺派 宗務本所

宗務総長	後藤 純一
総務部長	高橋 勇音
教学部長	栽松 完道
財務部長	土屋 孝喜
花園会 本部長	千坂 精道
法務部長	積 義雄
参拝部長	今山 弘毅

〒616 〇七五(四六三)三二二一
京都市右京区花園妙心寺町

真言宗御室派宗務所 総本山 仁和寺

門管 跡長	森 諦円
宗務総長 執行長	立部 瑞祐
庶務部長 執行長	周藤 真雄
教学部長 執行長	和田 仁雅
財務部長 執行長	市橋 真弘
華務長	手嶋 千俊
御忌事務局長	立部 瑞祐
次長	大林 実昭

〒616 〇七五(四六一)一一五五
京都市右京区御室大内三十三

大本山 大覚寺門跡

真言宗大覚寺派宗務庁
旧嵯峨御所華道総司所

〒616 〇七五(八七一)〇〇七一
京都市右京区嵯峨大沢町四

聖観音宗 金龍山浅草寺

管 長	清水谷 恭順
宗務総長	壬生 台舜

〒111 〇三(八四二)〇一八一
東京都台東区浅草二一三一一

暑中御見舞い申し上げます

日蓮宗宗務院

管長	望月日滋
宗務総長	松村寿顕
総務部長	遠藤日護
庶務部長	堀竜雄
財務部長	石井隆教
教務部長	藤田教忠
護伝道部長	小川原潮栄
新聞部長	中村正彦
遠務局長	小林栄雄

東京都大田区池上二の三十二の十五
〒146 〇三(七五二)七一八一

真言宗豊山派宗務所

管長	川田聖見
宗務総長	熊野龍夫
総務部長	加藤龍弘
教化部長	門屋大寿
教務部長	田野憲宥
財務部長	岩脇宏信

総本山長谷寺 東京出張所長
島村智堂

東京都文京区大塚五の四〇の八
〒112 〇三(九四五)〇六三九

総本山醍醐寺

真言宗醍醐派宗務本庁

管座主	岡田宥秀
執行宗務総長	岩城秀雄
執行庶務部長	大沢自聚
執行教学部長	斎藤明道
執行財務部長	水守俊英

京都市伏見区醍醐東大路二二
〒601-13 〇七五(五七二)〇〇〇二

念法真教教団

総本山金剛寺

灯主 小倉靈現

大阪市鶴見区緑三十四-1-3
〒538 〇六(九一二)二二〇一

社団法人

全日本仏教婦人連盟

会長 大谷智子
副会長 一条智光
理事長 山本 杉
事務局長 船口暉子
事務局

東京都世田谷区桜上水四一九七
〒156 〇三三(三〇二)一五九八

暑中御見舞い申し上げます

真言宗国分寺派

大本山国分寺

座管長 西口 公教
宗務総長 近藤 彰 範

大阪府大淀区国分寺一の六の十八
〒531 〇六(三五二)五六三七

大阪府仏教会

会長 西口 公教 (国分寺)

副会長 鶯 地 一 隆 (本照寺)

// 井上 文 克 (妙信寺)

事務局長 川口 良 信 (全興寺)

事務局

大阪府大淀区国分寺一の六の十八
国分寺内
〒531 〇六(三五二)五六三七

福岡県仏教連合会

会長 花田 英 忠

副会長 藤 岡 彰

// 谷 山 仙 外

事務局長 田 村 圓 澄

// 次 長 円 日 成 道

// 波 多 野 聖 雄

会 計 高 崎 知 道

福岡県大野城市錦町二十
妙教寺内
〒816 〇九二(五八二)二二六六

近代仏教研究会

代 表 壬 生 照 順

事務局長 小 室 裕 充

東京都台東区元浅草一十七十二
華蔵院内
〒111 〇三(八四四)三六四八

財団法人

国際仏教興隆協会

名誉総裁 大 谷 光 暢

理事長 巖 谷 勝 雄

役 員 一 同

東京都目黒区中目黒五十四十五三
祐大寺内
〒153 〇三(七二一)七六〇八

真言宗中山寺派

大本山 中山 寺

宝塚市中山寺二の十一の一
〒650 〇七九七(八六〇)六五一七

財団法人

日本仏教鑽仰会

理事長 中 山 理 々

東京都千代田区内神田二十五十六
亀田ビル内
〒101 〇三(二五六)四九一一

真理運動本部

主 管 友 松 諦 道

東京都千代田区外神田
三十四一〇 神田寺
〒101 〇三(二五二)八八四二
八六八三

暑中御見舞い申し上げます

神奈川県仏教会

事務局長 鎌倉市小町二丁目二二二 本覚寺内 〒248 0667(11)0490	副会長 小沢省元	会長 貝山宣泰	総裁 岩本勝俊
安藤文雄	小崎竜雄	柴田敏夫	

茨城県仏教会

本部 茨城県多賀郡土町支部一九九〇 〒319-13 0119(11)1051 事務局長 水戸市八幡町十一の六九祇園寺内 〒310 0119(11)5119	副会長 秋本義雄	会長 大越孝仁	事務局長 小原泰寿	次長 猪瀬宝山	外顧問 理事 評議員一同	〃 中村純崇	〃 土肥浩	〃 小林栄雄	〃 牧田実栄
--	-------------	------------	--------------	------------	-----------------	-----------	----------	-----------	-----------

千代田トラベルがおくる夏の海外旅行

- | | |
|--|--|
| ボロブドールとバリ島・シンガポールの旅
世界最大の仏教遺蹟インドネシアのボロブドール見学と南海の楽園バリ島の休日 | 7月26日～8月1日 7日間
参加費用 298,000円 |
| インド・ガンダーラ・アフガニスタン美術研究の旅
日印協会主催・女子美術大学教授永井信一先生同行指導
アジヤンタ・エローラ、カシミール、ペシヤワール、カイバル峠、カブール、パーミヤンなど | 8月8日～8月23日 16日間
参加費用 485,000円 |
| ガンダーラ・アフガニスタンの旅 第11回・第12回
タキシラ、ペシヤワール、カイバル峠、ハッダ、カーブル
パーミヤン、プリホムリ、マザリシャリフ、ラホール | 8月15日～8月27日 13日間
8月29日～9月10日 〃
参加費用 465,000円 |
| スリランカ・タイ特別訪問団
WBFF日本大会記念シリーズ（仏教タイムス社共催）スリランカの仏跡とバンコック訪問 | 8月23日～9月2日 11日間
参加費用 298,000円 |

この旅行はキャンディの仏歯寺のお祭りとして世界的に有名ペラヘラ期間に当たります。ペラヘラの日程が決まるのは5月の満月を過ぎてからのため、ペラヘラを予め日程に組み入れた旅行は皆無です。このたびは幸運にもキャンディ滞在中が10日間続くペラヘラの最高潮に達するときです。日本テレビ（NTV）カメラマン3人同行します。この好機をお逃しなく。

千代田トラベル制作の小冊子「仏跡参拜」をご希望の方に贈呈しております。はがきでお申込ください

第12回世界仏教徒会議日本大会協賛広告

取扱旅行会社
運輸大臣登録一般第154号
株式会社 千代田トラベル
東京都港区南青山5丁目6番20号（千成ビル）
電話 407-3612（代表）
400-5100
郵便番号 107

チャンドナダ長老が来日

スリランカの一行に歓迎委員会



中央がチャンドナダ長老

事務総局長、来馬国際文化局長、鎌田国際部長、西村・黒田両W.F.B.実行委員などが出迎えた。なお一行歓迎委員会は、麻布照海、丹羽廉芳両師が発起人となり約百名の有志が賛同して組織され、一週間わたる一行の接待を行った。

一行は都内名刹寺院を巡拝したのち、五月三十日午前十一時から東京グランドホテルにおける全日仏および歓迎委員会主催の歓迎午餐会に出席し懇談した。その後、鶴見・総持寺、大雄山・最乗寺に宿泊、六月一日からは京都を巡拝し、東本願寺では大谷光真門主等に謁見し、妙心寺では大谷光真門主等に謁見し、妙心寺に宿泊し、六月四日帰国した。

午後八時に羽田着の大韓航空機二便にて来日した。

一行は韓国における仏誕二千六百年祭祝典に、国賓として招かれた途次日本に立ち寄ったものである。チャンドナダ長老は同国の仏教宗派三派の中のアスギリヤ派五カ寺を輩下にする管長で、仏齒寺管長でもあり、長老の来日に際しては、外務省南西アジア課、駐日スリランカ大使館からも滞在中の便宜供与方依頼があった。それだけに来日の際には、スリランカ大使館よりティラカライト大使自から出迎えるというVIPをおもわせる扱いであり、全日仏からも麻布W.F.B.

香港仏教会長と懇談

全日仏へ一行九名来訪

今度のチャンドナダ長老一行の来日について一週間にわたる滞在中の一切の費用をご協賛頂いた約百名の委員の方々および各本山に対し感謝申し上げます。

日本仏教との親善交流のため来日中の香港仏教僧伽連合会の釈洗塵会長、釈永惺副会長ら九名の仏教僧尼が、六月十七日午後四時に、全日本仏教会事務総局を訪問し、鱒淵事務総長、加藤総務局長らと親しく懇談した。

洗塵法師はW.F.B.香港センターの代表

で、今回日本仏教界の視察のために初めて来日したもので、明年のW.F.B.日本大会に出席を確約すると共に、仏教書の翻訳活動などを通じて、日本と香港の仏教交流を深めたいと話していた。

関東甲信越静会議

関東甲信越静ブロック会議は、長野県仏教会の担当で、六月二十日午後一時より、善光寺において開催された。

本堂で先師法要のあと、忠霊殿において半田孝淳師（長野県仏）を議長に選出して議事に入った。

一、第25回埼玉大会

開催地埼玉県仏の大島会長挨拶につづいて、柳事務局長より細目にわたって大会要項、準備状況の説明があった。特に文書資料展について、各地域仏教会、それぞれの支部、寺院に機関紙・寺報などを出品してもらえよう依頼した。

二、第12回W.F.B.日本大会

麻布事務総局長挨拶のあと、鎌田部長が説明。この中では地方大会についての質問が多数だされた。

三、各県仏活動報告

仏教会によっては停滞ぎみのところや役員交替期の会もあるが、それぞれ独自の活動をとうして全一仏教運動を推進している。特に静岡県仏では檀信徒会議の発行、仏教婦人会の結成がすすめられていることは大変な努力である。また茨城は宗教学者の実務研修会などを活発に開いて活動している。近い将来には全仏大

会の開催なども検討中とのことである。長野、神奈川などは「全仏」掲載のとうり大きな組織で活動している。（出席県仏）埼玉、神奈川、静岡、茨城、山梨、群馬、千葉、長野。

51年度全日本仏教会の事業報告

(前号のつづき)

六、世界仏教徒会議への参加および文化交流の促進

○昭和51年

4・6	W.F.B.日本大会世話人会	4・26	マスター
6・10	プラン委員会	6・15	世話人会
6・21	起草小委	8・2	世話人会
9・2	準備委員	10・6	準備委員
10・22	W.F.B.日本大会小委員会	11・4	企画小委
11・8	勸財小員	11・15	準備合同
11・19	委員会		

東京ブティストクラブ

東京ブティストクラブは全日本仏教青年会のOBを中心メンバーとして、昭和四十年に結成された。現在、会員は二十一名を数えている。ブティスト仏教徒として社会奉仕を精神とし、献血運動、施設等へのチャリティを毎年行っている。なかでも、十二月のお釈迦さま成道会記念のチャリティ・パーティはユニークな運動で、仏

教の宣布とパーティ参加者の親睦をはかり、パーティの利益をチャリティするといふ一石二鳥の企画はもう十年以上続いている。また最近は、海外仏教徒との交流にも力を入れ、年に一度ほど海外旅行団を組んでいる。社会への奉仕を通じて、宗派、国籍を超えて仏教徒のつながりの輪を広げてゆこうということでも会員も多岐に涉り、それぞれ各宗、各団体の中堅メンバーとして活躍している。日蓮宗では玉泉院井上日宏、題経寺望月良晃、浄

法輪のもとに 加盟団体紹介

社会奉仕を精神に

ユニークなチャリティーショウ

にも働き盛りの会員ばかりなのも特色である。

クラブの役員は毎年まわり持ちということになっており、リーダーを中心に幹事以下がそれぞれの役割を受け持つてクラブを円滑に運営している。全員が何かの役につかなければならないことになっていて、中でも愉快なのはテールツイスター。これは例会等で、遅刻等の規則違反者から罰金を徴収する係。レクリエーションは、ゴルフ会や家族会の設定運営、企画は年中の行事の企画、渉外は外部団体との接渉を

まかされている。会計係も少ない予算を切りまわして苦労している。そして幹事は例会の運営をする。例会は毎月四日に赤坂プリンスホテルで開催している。食事をしながら各会員の情報交換や提案がなされ、毎回各界の名士を講師に招いて知識を広げている。普段接する機会のない世界の話を聞くことによって仏教というものを多面的にとらえる、思いがけない角度から仏教をながめるといいうのも新鮮なことである。会員が国際的感覚を身につけ、広い視野でものこをながめられるのも故なことではない。

現在、仏教界はとかく横の連絡が途絶え勝ちな中、各宗派の中堅が集まってそれぞれの所属団体の情報を交換しあい、積極的に仏教界を盛り上げてゆこうという意志を各会員はもっている。そういう意味で当クラブを果す役割は大きなものだといえるかもしれない。WFB世界仏教徒会議が来年日本を主催国として開催されるが、当クラブ員は各委員会に参加し、これを成功させたいと願っている。仏教の発展は各宗派それぞれの発展であり、仏教徒の発展であると思う。

これからも当クラブはその活動を通じて仏教の発展に貢献し、真の仏教徒でありたいと願っている。
(事務所) 東京都中央区銀座7の14の3・安田松慶堂内

11・19 WFB本部執行委員会 (ベナン) 出席

11・20 WFBY国際セミナー (ベナン) 出席

11・24 WFB日本大会準備合同小委員会

12・6 勸財小委員会

○昭和52年 1・21 WFB日本大会準備小委員会

2・17 仏教英語

3・11 学生養成打合せ

3・12 実行委員会

3・26 総務委員会

七、仏教および仏教徒による国際親善および文化交流の促進

○昭和51年 4・11 ハワイ花まつり出席

6・1 仏教親善訪米団(2団)派遣

6・21 タイ国家教局長来日歓迎会

10・20 林錦東師来日歓迎会

11・17 スリランカ首相バンダラナイケ女史来日歓迎会

昭和52年 2・12 仏教婦人訪米団派遣後援

19

